

会 議 録

1 会議名

平成27年度第6回諏訪区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

○委員が描く諏訪区の理想像と諏訪区地域協議会の今後の展開について（公開）

3 開催日時

平成27年12月10日（木）午後6時30分から午後7時50分まで

4 開催場所

公民館諏訪分館 集会室

5 傍聴人の数

1人

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

- ・委員：秋田ひろ美、池田義二、内山松男、川上文雄（副会長）、川上義人
寺田晴夫、古川正美（会長）、星野一巳、松縄節子（欠席3人）
- ・事務局：中部まちづくりセンター：山田センター長、恩田係長、小林主事

8 発言の内容

【恩田係長】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

【古川会長】

- ・挨拶

【恩田係長】

- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第1項の規定により会長に議長を委任

【古川会長】

- ・会議録の確認：松縄委員に依頼

3議題「委員が描く諏訪区の理想と諏訪区地域協議会の今後の展開について」事務

局に本日の流れと資料の説明を求める。

【恩田係長】

- ・ 2グループに分かれてグループ討議を行うことを説明
- ・ 「検討メモ」について説明

【古川会長】

それではグループ討議を行う。

(「古川会長、秋田委員、池田委員、内山委員」のグループと「川上副会長、川上義人委員、寺田委員、星野委員、松縄委員」のグループに分かれ、30分程度の間討議)

【古川会長】

意見交換したものを発表願う。

【川上副会長】

私のグループでは、「一年後の諏訪の理想像」については現状維持という話もでたが、「未来をつくる会」のような会ができているとよい。できていなくても、そのような機運が高まっていたらよいということだ。

「こんな取組があったらよい」については、せっかく諏訪地区のホームページを立ち上げたので、もっと充実させて利用したらどうかということだ。今は、色々なことの結果報告のみになっているが、動画を作ったりして、見れば諏訪がどんなところか分かるようにしたらどうか。そのためには、二貫寺の森での体験を充実させたり、冬のブリザード体験ツアーを組んだりして、その紹介を諏訪のビデオの中でしたらどうかという話があった。

「十年後の諏訪の理想像」については、諏訪地区は上越市の「ど田舎」でもなく、町でもない今のような環境であってほしいということだ。田んぼや畑や森がある農村の風景で空気もきれいな住みやすいベッドタウンにもなれることが基本になるのではないかと話した。そのために動画やビデオを作って宣伝していったらどうかということになった。

「応援してくれそうな人」については、ホームページに関わっていただいている〇〇さん、〇〇さん、〇〇さん。二貫寺の森で炭焼きを指導してくださっている〇〇さん、〇〇さん、〇〇さんだ。こういった方から携わっていただいてホームページを充実させて、10年後には上越市のベッドタウンにできるようにしていく。ゆくゆくは関東圏などからも週末に通ってもらって田んぼをしてきれいな空気を吸いに来てもら

うこともよいのではないかという意見が出た。

【星野委員】

補足意見だが、小学校の児童数が非常に少なくなってきたのはいるが、最先端で独自の特徴ある教育ができる小学校にすれば生き残る可能性があるのではないかという意見も出た。

【古川会長】

私のグループの意見を発表する。

「一年後の諏訪の理想像」では「未来を考える会」のようなことのできる会を作り、若い人に入ってもらえるとよいという話が出た。

「こんな取組があったらよい」では、ホームページを中心にして諏訪の良い所や地区内外を対象にしたイベントをやる。空き家や条件の良い土地の情報をホームページに載せる。また、畑を体験農場のようにしてホームページを使って宣伝したらどうかという話が出た。

「十年後の諏訪の理想像」には児童数は50人くらいかなという話も出たが、私としてはより高い目標に向かって100人としてもよいのではと意見を言わせていただいた。

そのための取組みとして、様々なイベントをして地区内外に発信ができればよい。また、諏訪保育園では現在未満児の受け入れが厳しい状況になっていると聞いているので、子どもを増やすためにも保育園の体制も変えていく必要がある。それから、婚活パーティーを開催して結婚できる人を増やせば子どもも増えることに繋がる。そういった取組みが進んでいって十年後に成果が出ていたらよい。また、路線バスがなくなったが、人を増やすには路線バスが必要だという意見もあった。

「応援してくれそうな人」では、ホームページ作成委員会の人たちと、諏訪分館の〇〇さんの名前が出た。

それではこれから、今の意見を参考にして全体で話をしていきたいと思う。一年後や十年後の目標とする諏訪の姿、そして必要な取組や応援してくれる人、2グループとも大体同じような話であったかと思う。

皆さんの手元にも前回の研修で学んだ内容をまとめた資料があるが、何と言っても核となる人たちが一番大事だ。その人たちが目標を持って取組み、周りの人に伝播して仲間が増え、地域の皆さんの理解を得てやっていく必要がある。そのような組織が

できたら、地域協議会で応援しなくてはいけない。私たちだけでなく、地域の皆さんに理解してもらうための努力をしていかなければいけないと思う。そのようなことも踏まえて、今後の進め方も含めて皆さんからも意見を発言願う。

【松縄委員】

先ほど保育園の未満児の話があったが、諏訪地区の子ではなく、他の地区から来ている。まち場の保育園では未満児の定員を超えてしまうので、諏訪保育園まで来ている。3歳になったら自分の地域に戻るようだ。通園が遠くて困っているという人がいたので、諏訪に引っ越してきたらどうかと話しておいた。三和区や色々な所からも来ているようだ。

【星野委員】

受け入れ枠は何人くらいなのか。

【内山委員】

先生1人に対して何人という規定があるのだが、他の地区でそれをオーバーしているから来るのだろう。

【松縄委員】

外孫も、有田保育園はいっぱいだから、古城保育園に行っていた。古城保育園にも色々な所から来ていたが、古城小学校に入学する児童は少ない。

【古川会長】

それは基本的には地域の子が優先されて、それでも空いているから他所の子が入っているのだろう。現状で諏訪に未満児がいれば、入園できる環境にはあるということ。他に何かあるか。

【星野委員】

若い人も含めた会をという話が我々のグループでも出たが、今迄2回若い人たちとの懇談会を開催したが、出づらいのか若い人の出席率があまり良くなかった。高土地区で若い人を対象にした色々なイベントをやるそうなので、諏訪区でも若い人を一つのキーポイントにして何かをやっていったらどうかと思う。これまで2回、若い人との話し合いは行ったが、3回目や4回目も開催できたらよいと思う。ただ、工夫をしないと参加者が少ないと思う。理想論として会を設けられたらよいと思う。

【古川会長】

確かに、2回行ったが参加者は同じ人が多かったので、もっと新しい人も集まって

くれるような形で開催できればよいと思う。

今回、諏訪区が一年後や十年後にはどうなってくれたらよいかの話合いをしたわけだが、まずは今話合っていることが、どれだけ地域に周知できて、理解してもらえるかということもやっていきたい。ただ声をかけても集まり難いと思うので、我々が色々な集まりに参加し、説明しながら理解していただくことが必要だと思う。

中心になって動いてくれる人を見つけて、その人たちが核となって動くまでは、我々の責任として一緒に考えていかなければいけないと思う。何人か決めて後はお任せということではなく、我々が勉強してきたことが上手く伝わる形で説明していかなければいけないと思う。

一年後に「諏訪の未来をつくる会」のようなものが立ち上がってくれるようにするために、具体的に今後どのように進めていったらよいか意見を求める。

【川上副会長】

先日、雄志中学校生徒との意見交換会の時に高土区と津有区と諏訪区の3区で集まった。私たちは高土区が若い人を集める取組みをしていて良いなと思ったが、他の2区から見ると諏訪区はホームページを作っていて進んでいると思われたのではないかなと思う。諏訪区はホームページが切り札になっていると思う。

諏訪を紹介する動画を作って、ホームページを利用して配信して機運を高めていかないといけないのではないかなと思う。一年後には諏訪を紹介できるような動画を作る。そのために、先程名前を上げさせていただいたような人たちから先頭に立ってもらえたらと思う。

【寺田委員】

事務局に質問だが、ホームページで動画を見れるようにするためには、どの程度の金額が必要になるか。

【恩田係長】

動画を載せることについて、経費がどの程度必要かは分からないが、それほど大きな変更をせずとも可能と思う。また、現在の諏訪のホームページは、基本的に情報を発信しているだけである。立ち上げ時にはインターネット上の「喋り場」のような形にすることも提案団体も考えられていたが、管理が大変ということで見送られている。ゆくゆくは、そのような形を目指したいというような話をされていた。

【古川会長】

静止画が載せられれば、動画を載せることは難しくはないと思う。諏訪の良い所や、家を建てられる場所、どのような家が建てられるのか、道路や下水道の整備状況、安価な土地の値段も分かるようすれば、案外見てもらえらると思う。学校の授業の様子や先生の実践なども紹介できるようにすれば、ホームページを見てもらうだけで諏訪の状況が結構伝えられる。ホームページがあることは諏訪地区にとって武器になると思う。実行委員から中心に担っていただいて、周りもサポートするよう取り組んでいければと思う。

【松縄委員】

先日の雄志中学校生徒との意見交換会の後、津有区の委員の方とお茶飲みをした時に話していたのだが、「諏訪区はホームページを作ってすごいね」と言われた。

【川上義人委員】

先ほどの話と同じだが、私も一年後には「諏訪の未来を考える会」のような会を作れたらよいと思う。そこで若い人の意見を聞いて、希望を持てるような会議を持ちたいと思う。

【秋田委員】

皆さんの言うとおりに、ホームページの実行委員の方から引っ張ってもらって、それが一番大事だと思う。

【池田委員】

私はパソコンをやっていないので分からなかったが、ホームページの威力に驚いている。

【川上副会長】

外国の人もホームページを見て最近諏訪を見に来ている。

【古川会長】

今年視察に行った「ざいごう」さんや以前行った川口、池谷集落もそうだったが、一生懸命やっている地域には人が来るし、動きがある。諏訪は上越市で一番小さい区だが、自信を持って何かに取り組んでいけば必ず結果に繋がるのだと思う。前回の吉崎さんの研修の話からもそのように感じた。十年後の目標を持ちながら一年後の目標も持つ、とにかく目標を持つことだ。目標がないと、少しやって止めてしまう。目標に向かって進んでいくことが大事だと思う。

ホームページを利用すると、我々の発信力も違ってくる。実行委員の皆さんを核に

して、我々もできるだけお手伝いして進んでいければよいかと思う。

- ・次回の会議：1月20日（水曜）午後6時30分～ 諏訪分館にて開催

次回の会議では、ホームページ実行委員の方や地域の皆さんにも声をかけて、集ま
っていただき開催したいと思うがよいか。

（「はい」の声）

他に連絡事項等はないか。

（連絡なし）

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 中部まちづくりセンター

TEL：025-526-5111（内線1449、1547）

E-mail：chubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。